

腸内環境と脳機能

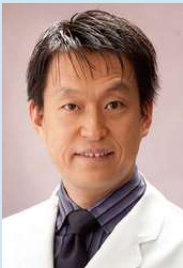
脳腸相関を理解した栄養アプローチ

**MSS主任講師と
エキスパート臨床医師2名。
豪華講師陣によるスペシャルセミナー!**

日時: 2017年 **5月14日(日)**
10時~17時 (受付開始9時30分)

会場: **AP品川**

講師



内科、消化器科を専門としながら、西洋医学、漢方、分子整合栄養療法(オーソモレキュラー療法)などから適切なものを選択。「アンチエイジング」も含めた「病気の予防」を第一に、身体に負担の少ない、身体に優しい医療を提供している。

川井 勇一 先生

大阪府大阪市
かわい内科クリニック 院長



脳神経外科専門医であるとともに、認知症、高次脳機能障害、パーキンソン病、痛みの治療に情熱を傾け、心に迫る医療を施すことを信条とする。著書に『サプリが命を躍動させるとき あきらめない! その頭痛とかくれ貧血』(文芸社)

工藤 千秋 先生

東京都大田区
くどうちあき脳神経外科クリニック 院長



免疫細菌学の第一人者であり、研究・実践分野で数多くの実績を持つ。MSSのターゲットセミナー・分子整合栄養医学総合講座で講師をつとめる。MSS製品の開発や、蓄積された医療データの解析・論文の執筆を行う。

鶴 純明 先生

分子栄養学研究所 副所長
MSS主任講師

概要

脳と腸は共通の情報伝達物質や受容体を介し、双方向的なネットワークを形成しています。そんな「脳腸相関」を学術的に理解したうえで、脳、消化管、それぞれの専門臨床医による、効果的な栄養アプローチを学びます。

POINT!

学術講義から疾患別サプリメント処方まで、3名の講師による多角的な視点の実践講義です。

プログラム(予定)

- ◆ 脳腸相関の理解と関連する栄養素について
- ◆ 栄養療法に必須の消化管アプローチとは
- ◆ ピロリ菌の栄養状態への影響と除菌療法
- ◆ 脳機能を健全に保つ栄養アプローチの実際
- ◆ かくれ貧血による頭痛への理解と対策
- ◆ 質疑応答

対象
費用
定員

すべての医師の先生方、MSS契約済み医療機関スタッフ、MSS契約済み歯科医師、認定ONP
27,000円 (税込、テキスト・昼食代含む)

50名

お申込

申込用紙(本紙裏)のFAXもしくはMSSシステムより

お申込期限

2017年5月10日(水)